



「ZOOM」で学ぶ！振り返りを充実させるポイント

©岡山県「ももっち」

授業改革推進チームと大館市立城南小学校をZOOMでつなぎ、6年担任の小松教諭による算数科（データの活用）の授業を参観しました。内容を抜粋し、**振り返りを充実させるポイント**について紹介します。

授業のダイジェスト（振り返りの場面）

小松教諭の発問と児童の振り返りの記述を紹介します。

本時のまとめは「ネット利用は、人間の欲求や情報を手軽に取り入れるために進化した。」です。
このことを自分のこととして捉えて、振り返りを2分で書きましょう。



ネット利用が増えることによって、ネットでの会話などできることも多くなったのですが、自動的に、ネット利用の増加により、今、自分のおかれている場でのコミュニケーションだったり、自分の居場所が分からなくなってしまうので、**今自分の周りにいる人たちとの実際のコミュニケーションを大切にすることも重要と考えます。**

授業後の質疑応答の内容

授業者の小松教諭に伺いました！（採用8年目の先生です。）



美術（小）チーム 児童が主役となる授業でした。本時で一番意識したことは何ですか？

日常生活に関する内容なので、**自分の生活が社会とどのようにつながっているかを授業の終末でしっかり考えさせること**です。

小松教諭

津山（小）チーム 児童に振り返りの視点をどのように示していますか？

「学びの振り返り」の視点(図)を教室に提示しています。**学んだことが自分の生活や今後の学びにつながるような振り返りにしたい**と思って授業をしています。

倉敷（小）チーム 振り返りの時間が2分でしたが、どのくらいの児童が書いていましたか？

書いていない児童もいました。指名した3人も書き終わっていませんでしたが、キーワードやポイントが書かれていたので、敢えて指名しました。**普段から途中までしか書いていなくても、発表する訓練はしています。**

ポイント① ～何を振り返るかを明確にする～

児童の振り返りを支援するために、1時間の思考の流れが分かる板書(写真1)になっています。また、見開き2ページで45分の授業のすべてが分かる構造的なノートづくりに取り組みられています。(写真2)

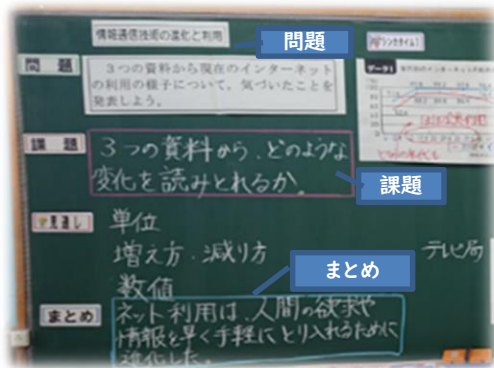


写真1:1時間の思考の流れが分かる板書

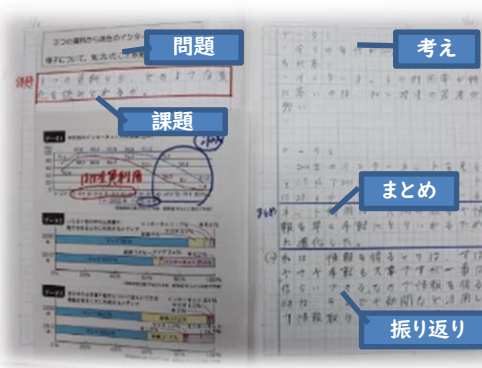


写真2:1時間で見開き2ページのノート

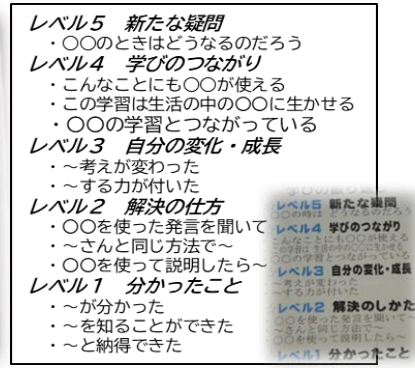


図:振り返りの視点

ポイント② ～どのように振り返るかを明確にする～

城南小では、図:振り返りの視点を各教室に掲示し、どのように振り返ればよいかを明確にしています。振り返った内容に対しては、自己の変容に気付き、自信へとつながるように、教師がコメントを返しています。



©岡山県「うらっち」

柴田指導教諭のコメント

秋田県の多くの先生方は、1単位時間のゴールを明確にして、そのゴールに45分でたどり着くように、授業を設計しています。**授業内容を精選することや焦点化することが得意な方が多い**印象です。

構造的な板書やノート指導、振り返りの視点など、組織的な取組については、教職員全員でその意図やねらいを共有して取り組んでいると感じます。

